

やまびこ

立 越 市
校 塚 小 学 校
だ よ り
R7.12.19
No.356

こどもがまんなか 家庭 = = 地域

今年の漢字は、私たちの生活の中に入り込んできた「熊」です。安塚では人的被害がなかったのが何よりでした。クマ目撃情報が多く聞かれるようになり、登下校中の安全を心配する保護者の声に教育委員会(安塚区総合事務所)が早急に対応くださり、冬季バスの前倒し運行を実現することができました。最近よく聞かれる「こどもがまんなか」というキーワードがあります。図で示したように子どもを真ん中に置いて大人たちができることを考え、実行するというこの図式を実現できたエピソードになりました。学校は、保護者の声を行政に届ける橋渡しをしただけでした。安塚の「地域力」のおかげです。感謝申し上げます。

2学期末には「個別懇談」「学校アンケート」で保護者のみなさんの声を寄せていただきました。以前と比べると学校と家庭が一緒に取り組む活動が減ってしまったからなのか、先生と親との距離が離れていったと感じる方もいらっしゃると思いますが、いつでも「こどもがまんなか」の声を学校までお寄せください。

校内でも、職員間で「子どもを主語に」した会話を多くするようにしています。7月の学校評価の職員記述から一つ紹介します。「職員室で、その日の子どもの姿を日常的に語ることが去年より多くなった。自分の担任する学年の児童の気付かない一面や、他学年児童の素晴らしい姿などを談笑しながらたくさん共有することができて、子どもの見方が広がった。」

さて、まもなく年の瀬です。この一年子どもたちは落ち着いて充実した学校生活を送ることができました。今年は特に30周年で、思い出深い年にすることができたのは、保護者のみなさまをはじめ、地域の方々のご理解・ご協力のおかげと感謝申し上げます。大変ありがとうございました。それでは、みなさまよいお年をお迎えください。

児童の活躍

<p>前島密ふれあいハガキコンクール 上越信用金庫図画展覧会 金賞</p>		<p>さん</p>
<p>じょうしんえつ絵画展</p>	<p>銀賞 銅賞 佳作</p>	<p>さん</p>

昨年の学校だより12月号で、これまで担任と子どもの間で行っていた年賀状のやりとりを行わないことをお知らせいたしました。今年度は誠に勝手ながら、学校として年賀状をお送りすることをやめさせていただきます。

日常の教育活動はホームページ(右上の二次元コードよりお入りください)でタイムリーに紹介しております。地域に支えられての子どもたちの豊かな活動については、そちらをご覧ください。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

ふるさと学習 ～人とつながり、地域とつながる～

将来「ふるさと安塚」を語ることができる大人となるために

1,2年生が、9月の嵐の日に種まきをしたダイコンは雨に流されることなく無事に育ちました。やすづか学園のみなさんにおすそ分けしました。

3,4年生はコロナ禍を経てなおも生活に潜む差別意識という現代の課題について考え、話し合いました。相手を大切にする意見が多く出されました。

12月9日 だいこんをプレゼント



11月19日 部落問題学習、人権教育



12月2日 キャリア教育

5,6年生は上越ケーブルビジョンの新スタジオを見学してきました。最新放送設備を見たり、アナウンサー体験をしたりしました。



12月10日 全校遊び

インフルザの流行が収まり、久しぶりの全校遊びです。健康委員会のリードで、しっぽ取りをしました。元気と笑顔がいっぱいです。

〈1月の主な予定〉

8日(木)	3学期始業式、給食後下校
12日(月)	成人の日
13日(火)	降雪時の避難訓練 図書館司書訪問
15日(木)	フッ化物洗口 ICT 学習支援員訪問
21日(水)	全校スキー教室
22日(木)	フッ化物洗口 ALT訪問 市のスクールカウンセラー訪問
29日(水)	フッ化物洗口

CONGRATULATIONS

